

(様式第7号)

令和3年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	五老ヶ岳公園		
指定管理者	一般財団法人有本積善社		
設置目的	自然とのふれあいの場、レクリエーションの場、市内外からの来園者に憩いと潤いを提供する観光施設とするため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成29年4月1日～ 令和4年3月31日
所管課	建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	47,393人	42,984人	53,631人	32,216人	23,796人
利用料金(円)	8,704,450円	7,839,250円	9,986,600円	6,136,750円	4,340,600円
指定管理料(円)	16,310,000円	16,310,000円	16,310,000円	16,612,000円	16,612,000円

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
五老ヶ岳公園展望タワーの利用人数	47,000人	50,000人	23,796人	48%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,340,600	人件費	8,007,859
指定管理料	16,612,000	維持管理費	10,304,428
事業収入	9,263,230	事業費	12,197,923
その他	2,660,056	その他	3,533,191
合計	32,875,886	合計	34,043,401
差額			△1,167,515

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令及び積雪による不稼働日数の増加により、目標達成率は48%にとどまった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	コロナ禍においても、感染対策をしっかりと行い、実施できる事業等を模索しながら運営することができていた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね果たされていた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	新型コロナウイルスの影響により、公園を閉鎖していた期間があり、自主事業の開催回数が減少した。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	市設定目標を達成すべく、十二分な感染対策を取り、来客対応を丁寧に行い、誘客努力が見られた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	概ね得られた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	新型コロナウイルスの影響により、入場者数が減少しており、アンケート回答数も少なかった。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	対応できていた。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	修繕等を自社職員で実施するなど、外注発注費用の抑制など削減を図っていた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適正に行われていた。
収入増加のための取組が行われたか	○	新型コロナウイルスの影響により、大掛かりな集客等の取組が難しい状況であったが、物品販売などの営業努力をされた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適正に行われていた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適正に行われていた。
施設の平等な利用が行われたか	○	適正に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適正に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	適正に行われていた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	YouTube のライブ配信や、ラジコンカーレースの開催など、小規模でも反響の大きい取組を実施し、集客に努めた。コロナ禍における感染対策をしっかりと行い、来園者が気持ちよく過ごせるよう努めた。	
経費削減	今年度については、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令や、積雪による不稼働日数の増加（計 123 日）により、必要最低限の施設管理費等出費に対して利用料金収入が激減したため、最終的な収支は赤字となった。	
施設の維持・管理	概ね良好であった。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.8 点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>コロナ禍で利用者の減少はやむを得ない。 人件費が計画より 1.2 倍もかかっており、計画的な執行及び経営改善が望まれる。 コロナ禍で収支の赤字は仕方ないが、カフェの委託先との委託方法及び委託料金については、見直しが必要と思われる。 先行仕入分が収支状況の期末棚卸高に反映されていない。 利用者が大きく減少する中、実質含み在庫を所有していることは評価するものの、反面、カフェ運営の収益化及び活用方法を工夫してほしい。 早朝から夜間まで楽しめる観光スポットとして重要な場所である。市民全体にもっと親んでもらえるようアピールしてほしい。 自主事業について、今後も新しい企画を期待したい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
3.33 点	3.4 点	4 点	3.16	3.47 点